

CentreCOM® 8624XL リリースノート

この度は、CentreCOM 8624XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1.1 ソフトウェアバージョン 2.1.4 pl02(2.1.4-02)

1.2 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.1.3 pl01 から 2.1.4 pl02 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 1.2.1 スパニングツリー使用時に、スパニングツリードメイン内である機器から別の機器にケーブルを差し替えることによってネットワーク構成を変更する場合、ケーブルの差し替えに 30 秒以上の間隔をあける必要がありましたが、これを修正しました。
- 1.2.2 ハードウェア IP フィルターにおいて、ADD SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドでフィルターエントリに TCP ヘッダーの Syn を指定した場合、Syn と Syn/Ack の識別ができないう問題がありましたが、これを修正しました。
これにより、Configuration Examples 2.1 「ハードウェア IP フィルター：概要」の設定手順、およびコマンド例の内容を一部修正しました。修正内容が反映された最新の設定例は、弊社ホームページ(<http://www.allied-telesis.co.jp/>)に掲載されていますので、詳しくはそちらをご覧ください。
- 1.2.3 ハードウェア IP フィルターにおいて、ADD SWITCH L3FILTER MATCH コマンドで TCP と UDP の 2 つのマッチ条件を作成しようとした場合、エラーメッセージが表示され、コマンドが実行できないという問題がありましたが、これを修正しました。
- 1.2.4 ハードウェア IP フィルターを使用して、片方向通信を行うための設定をした場合、1 パケット目をフィルターするには、フィルター条件に該当する IP アドレスを ARP テーブルにスタティック登録する必要がありましたが、これを修正しました。
- 1.2.5 SHOW IP FILTER コマンドで表示される Maches パラメーターにおいて、フィルター条件に該当する UDP や TCP パケットが正しくカウントされるようになりました。
- 1.2.6 DHCP/BOOTP リレーエージェント機能において、Windows 95/98/ME、および Windows NT を DHCP クライアントとして正しく使用できるようになりました。

- 1.2.7 DHCPサーバー機能において、Windows 98搭載のPCに対するIPアドレスの割り当てを正しく行うことができるようになりました。
- 1.2.8 IPルーティング機能において、ポートランキング設定ポートに対するパケットを正しく送信できるようになりました。
- 1.2.9 ADD SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドで、EPORT パラメーターにポートを指定し、かつACTIONパラメーターにDENYを指定した場合、フィルターが正しく動作するようになりました。
- 1.2.10 スイッチング処理において、処理が重なり、本体がルーティングしたパケットを一定時間内に送信できなかった場合は、アポート処理を実行しますが、このアポート処理が複数回連続して発生すると、IPルーティング機能が停止することがありましたが、これを修正しました。
- 1.2.11 QoS が動作しないという問題がありましたが、これを修正しました。

1.3 本バージョンでの制限事項

1.3.1 SNMP Trap について

 「ユーザーマニュアル」 2-51 ~ 2-52 ページ

現在、SNMP Trap に WarmStart Trap が実装されていません。

システムの起動後(再起動後)に、ColdStart Trap、および Link Trap が送信されません。

1.3.2 パケットストームプロテクションについて

 「ユーザーマニュアル」 3-9 ページ

パケットストームプロテクションを設定した場合、指定した受信レートの上限を超えて対象パケットを受信することがあります。

1.3.3 SNMP MIB オブジェクトについて

 「ユーザーマニュアル」 2-51 ~ 2-52 ページ

SNMP の MIB オブジェクトについて以下のような制限があります。

MIB II オブジェクト [ipNetToMediaPhysAddress] に正しい値がセットされていません。
ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dStpPriority] に正しい値がセットされていません。
ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dBaseType] に正しい値がセットされていません。
ブリッジ MIB オブジェクト [dot3StatsFrameTooLongs] が正しくカウントアップされません。

1.3.4 ポートランキングについて

 「ユーザーマニュアル」 3-6 ~ 3-8 ページ

VLANごとにトランクグループを複数設定したとき、異なるVLANのトランクグループ間で通信が行われてしまう場合があります。

1.3.5 VLAN 間の IP ルーティングの無効設定について

 「ユーザーマニュアル」 3-45 ~ 3-48 ページ

VLAN 間の IP ルーティングを行わないようにする場合は、複数の VLAN インターフェースに IP アドレスを設定しないようにしてください。(SNMP などのマネージメントが必要な場合は、マネージメントを行う VLAN に対してのみ IP アドレスを設定します。)

DISABLE IP FORWARDING コマンドは使用しないでください。

1.3.6 ソフトウェア IP フィルターについて

SET IP FILTER コマンドを使用すると、コンフィグレーションの設定条件によってはシステムがリブートする場合があります。ADD IP FILTER コマンドで定義した内容を変更する場合は、DELETE IP FILTER コマンドで一度設定内容を削除してから、再度 ADD IP FILTER コマンドで設定しなおすようにしてください。

特定のホストからの ICMP エコーリクエストを拒否(その他のプロトコルは許可)するという設定を行った場合、他の VLAN 配下に接続された端末から、この特定のホストに対して Ping を実行すると、フィルターの設定が無効となります。

SHOW IP FILTER コマンドで表示される Maches パラメーターにおいて、ユーザープライオリティの設定条件に該当するパケットが正しくカウントされません。

1.3.7 RIP バージョン 2 について

 「ユーザーマニュアル」 3-45 ~ 3-48 ページ

RIP バージョン 2 の可変長サブネット環境において、ADD IP RIP INTERFACE コマンドで、RECEIVE パラメーターに BOTH を指定した場合、経路情報を受信することができません。RECEIVE パラメーターには RIP2 を指定するようにしてください。

1.3.8 ポートランキングとスパニングツリーの併用について

ポートランキングとスパニングツリーを同一ポートに設定することはできません。

2.1 サポート予定機能

以下の項目は、現在未サポートとなっています。順次サポートする予定ですので、あらかじめご了承ください。

- WEB マネージメント
- パケットストームプロテクション(マルチキャスト)
- バックプレッシャー / フローコントロール
- RMON(1, 2, 3, 9 グループ)
- トリガー
- SNMP(プライベート MIB)
- アップリンクポート(1000Mbps ポート)のポートランキング

オプション機能

以下の項目は、別売でのサポートとなります。

- AT-FL-02
 - ファイアウォール
- AT-FL-03
 - IP マルチキャストルーティング
 - IPX ルーティング
 - AppleTalk ルーティング

2.2 本バージョンでサポートされた機能

ソフトウェアバージョン 2.1.3 pl01 から 2.1.4 pl02 へのバージョンアップにおいて、以下の項目がサポートされました。

OSPF

同梱のCD-ROM内「Command Reference」には、「OSPF」関連のコマンドが入っていません。「OSPF」関連のコマンドについて説明した章は、弊社ホームページ(<http://www.allied-telesis.co.jp/>)に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

Command Reference へのリンクはこちら：

<http://www.allied-telesis.co.jp/support/8624xl/manual.html>

3. マニュアルの補足事項

3.1 VLAN への IP アドレス設定数について

 「ユーザーマニュアル」 3-43 ~ 56 ページ

本製品の VLAN 設定数は最大 62 個(default VLAN を除く)ですが、VLAN への IP アドレス設定数は最大 32 個となります。

3.2 スパニングツリードメイン設定数について

 「ユーザーマニュアル」 3-29 ~ 3-39 ページ

スパニングツリードメインの設定数は、最大 16 個となります。

3.3 QoS について

 「ユーザーマニュアル」 3-27 ~ 3-28 ページ

本製品は、ユーザープライオリティを 0 ~ 3 の 4 レベルのキューに割り当てることができます。

「ユーザーマニュアル」 3-27 ページに「システムは、優先度の高いキュー 3 から順に、すべてのパケットを転送した後、次のレベルのキューの転送を行います。」とありますが、正しくは以下の通りとなっていますので、訂正してお詫びいたします。

各レベルのキューに割り当てられる帯域は、相対的に最も優先度の低いキューが 0% で、残りのキューが 100% を均等に共有するという割合になっています。割り当てられる帯域は、パケットが同時にキューイングされているキューの数により以下のように異なります(数値は一番左が相対的に最もレベルの低いキュー、一番右が相対的に最もレベルの高いキューに割り当てられる帯域を示しています。)

同時に 2 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 100 (%)

同時に 3 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 50 : 50 (%)

同時に 4 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 33 : 33 : 33 (%)

タグ無しパケットは、ユーザープライオリティ「0」で処理されます。

4. Configuration Examples (設定例集) の補足事項

同梱のCD-ROMには、具体的な構成例に基づいて本製品の設定方法を説明した「Configuration Examples」(設定例集)が格納されています。また、弊社ホームページ(<http://www.allied-teselis.co.jp/>)にて随時アップデートしていきますので、そちらも参照してください。

Configuration Examples へのリンクはこちら：

<http://www.allied-teselis.co.jp/products/product/switch/8624xl/index.html>

4.1 ハードウェア IP フィルターについて

 Configuration Examples 2.1 「ハードウェア IP フィルター」

ACTION パラメーターとして「FORWARD (パケットを通常どおり転送します。)」が明記されていますが、このパラメーターを指定することはできません。訂正してお詫びいたします。

ACTION パラメーターにSENDEPORTを指定して、パケットをルーティングさせることはできません。

ソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、フィルターの対象外となります。

4.2 ソフトウェア IP フィルターについて

 Configuration Examples 2.1 「ソフトウェア IP フィルター」

同梱のCD-ROM内「Configuration Examples 2.1」において、「ソフトウェア IP フィルター」設定例の手順に一部誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。正しい手順が記載された最新の設定例は、弊社ホームページ(<http://www.allied-teselis.co.jp/>)に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

4.3 ハードウェア IP フィルターとソフトウェア IP フィルターの併用について

ハードウェア IP フィルターとソフトウェア IP フィルターを混在させて設定することはできません。

